

2025年度 経済的困難を抱える子どもの学び支援活動助成 FAQ

分類	中項目	Q	A
1 全般	過去助成実績	過去の助成実績について知りたい	<p>経済的困難を抱える子どもの学び支援活動助成実績は以下の通りです。（複数年助成に変更後）</p> <p>2020年度助成：応募 79 件、採択 6 件 助成総額約 19,500,000円 2021年度助成：応募 90 件、採択 7 件 助成総額約 19,935,080円 2022年度助成：応募 84 件、採択 6 件 助成総額約 21,313,910円 2023年度助成：応募 112件、採択 6 件 助成総額約 15,103,877円 2024年度助成：応募 107件、採択 6 件 助成総額約 18,658,420円</p> <p>採択事業や事業報告書は、下記サイトページのアーカイブをご確認ください。 https://benesse-kodomokikin.or.jp/subsidy/</p>
2 全般	対象年齢	助成事業で対象にできる「子ども」とは何歳までか	こども基本法の定義に準拠します。
3 全般	経済的困難の定義	経済的困難を抱える子どもを対象とあるが、具体的にどのような子どもか	いわゆる生活困窮家庭の子どもに留まらず、さまざまな要因で生じる経済的な困窮に付随する子どもの複合的な困難も含みます。
4 全般	事前相談	応募にあたって説明会や事前相談会はありますか。	<p>●個別相談会 申請書の具体的な記入方法などオンラインによる個別相談を承っております。ご希望の場合は下記概要をご確認の上お申し込みください。 【相談期間】 2024年12月9日(月)～12月20日(金) ※10～17時（土日祝除く） 【申込方法】 必要事項を明記の上、ベネッセこども基金助成事務局宛にメール 【メールアドレス】 info@benesse-kodomokikin.or.jp 【必要事項】 1. 団体名、2.お名前、3. 電話番号、4. 面談希望日時（第1～3希望）、5. ご質問内容(できるだけ具体的に)</p> <p>※メールの件名は「助成個別相談会希望（団体名）」と記載してください。 ※3営業日後までに当財団から返信がない場合は、お手数ですがお問合せください。</p> <p>●説明会 2024年11月28日（木）12～13時、19～20時（オンライン） お申込み方法はこちらからご確認ください。 https://benesse-kodomokikin.or.jp/subsidy/</p>
5 申請の条件	複数の助成金	今年度他の機関から助成をもらっているが、同じ活動について申請を行えるのか	同じ活動についての申請は可能ですが、同じ費用を重複して助成を受けることはできませんので、別団体から助成を受けていない部分についての申請をご検討ください。
6 申請の条件	申請数	1団体で複数の申請が可能か	事業単位の助成ではなく団体単位に対しての助成となりますので、1団体で複数の申請はできません。
7 申請の条件	申請内容	ひとつの申請において、A：「既存事業強化」・B：「新規事業」の両方を申請することは可能か	A：「既存事業強化」・B：「新規事業」のいずれかを選んで申請してください。
8 申請の条件	助成金額	助成金額が3年間で900万円に満たない（または900万円を超える）が大丈夫か	費用が900万円以下の場合はその金額で申請してください。 900万円を超える場合は、900万円以内の金額で申請してください。 申請された内容を審査して個々に額を決定いたします。
9 申請の条件	助成金額	3年間で900万ということであるが、1年間の上限はあるのか	1年間の上限は設けてはおりません。900万円を上限に、3年（もしくは2年）の計画に応じて予算設定してください。
10 申請の条件	助成金額	3年間ではなく、1年間で900万円申請することは可能か	複数年かけて実行するレベルの活動に助成を行いますので、単年度での申請はできません。2年間で最大900万円の申請は可能です。
11 申請の条件	助成金額	助成金はいつ、どのように支払われるか。	助成金のお振込み時期は、2025年3月末を予定しています。採択後にお伺いするご指定の銀行口座にお振り込みします。
12 申請の条件	助成金額	申請時の予算金額の精度はどのくらいを想定しているか。採択後の変更は認められるか。	申請時は概算でも可能です。ただし、根拠は明確に記載してください。採択後に想定以外の費用項目が発生した場合などは、変更内容の必然性の確認をさせていただきます。変更基準などの詳細は、採択後にお知らせします。
13 申請の条件	自己負担額条件	予算の中の自己負担金の条件、制限はあるか	特に条件、制限等は設けておりません。
14 申請の条件	活動内容	学習支援は、「無償」でなくてはならないのか	非営利の活動が対象ですが、学習支援活動継続に必要なものであれば、「無償でなければならない」という制限は設けておりません。
15 申請の条件	対象団体	募集要項には、NPOや社団法人等具体的に書いてあったが、法人格がないとダメなのか。任意団体でも応募できるのか	非営利団体で、公益性のある活動を行っており、活動内容が適している確認できれば、団体形態にかかわらず助成の対象となります。ただし、個人名義ではなく、団体としての銀行口座を有していることが条件となります。
16 申請の条件	対象団体	任意団体／法人申請中の団体でも申請できるか	非営利団体で、公益性のある活動を行っており、活動内容が適している確認できれば、団体形態にかかわらず助成の対象となります。ただし、個人名義ではなく、団体としての銀行口座を有していることが条件となります。
17 申請の条件	支援対象	経済困難に関して助成対象として、日本国外の事業も対象となるのか	対象とはなりません。「ベネッセこども基金」の活動範囲を日本国内と定めておりますので、助成の対象も国内とさせていただきます。
18 申請の条件	支援対象	経済困難に関して日本在住の外国籍の子どもも対象になるのか	日本にいる子どもが対象のため、日本在住であれば外国籍の子ども対象の事業も申請可能です。
19 申請の条件	支援対象	「学び」とは何を指すのか？	<p>・「学び」とは、知識の獲得だけではなく、子どもの成長を促す豊かな体験や出会いなども含めて、広くとらえています。また、学びに向かう以前の問題も課題としてとらえ、助成の対象とします。</p> <p>・学びの要素がない、保護者支援・生活支援のみの事業は対象としません。</p>
20 応募資格	個人の申請	個人で申請することは可能か	個人でのご応募はできません。
21 応募資格	営利法人の申請	株式会社や有限会社がCSR活動などの一環として実施する営利を目的としない事業は対象となるか	事業主体である団体が、営利を目的としている株式会社や有限会社等の場合は対象となりません。
22 応募資格	新規団体の申請	設立が今年度のため、決算資料等がない。新規の団体でも応募できるか	応募可能です。応募書類提出の際は、①「助成申請書」、②「当年度事業計画」、③「当年度収支予算書」をお送りください。
23 助成金使途項目	対象科目	助成対象となる科目はなにか	今回助成を申請する活動にかかる費用科目が対象になります。申請事業に関わらない団体運営の費用や要員の人件費は、対象となりません。詳細は、申請書をご確認ください。
24 助成金使途項目	対象科目	雑費等は対象になるか	団体自体を運営するための管理費等の費用は助成の対象とはなりません。申請事業に必要なならば対象となります。
25 助成金使途項目	対象科目	助成金の使途に関して制限はないのか	団体自体を運営するための費用（人件費など）は助成対象とはなりません。「経済的困難を抱える子どもの学び支援活動助成」のために必要となる経費が対象となりますので、内訳がわかるように明記してください。
26 助成金使途項目	対象科目	人件費は対象か	子どもの学び支援活動を行うためのスタッフ、アルバイトや学生ボランティア等の事業にかかる人件費は含まれますが、団体の運営を行うための人件費は対象となりません

27	助成金使途項目	対象科目	申請事業以外でも共有しているオフィスの家賃・人件費・備品などを按分して計上することは可能か。	根拠をもって明確に金額を切り分けることができれば、按分して費用計上することが可能です。
28	助成金使途項目	人件費	学生ボランティアやアルバイトに支払う報酬等は対象外か	団体自体を運営するための費用ではなく、子どもの学び支援活動を行うためのものであれば対象となります。
29	申請の仕方	申請書	申請書はどこでもらえるか	ベネッセこども基金のホームページからダウンロードしてください。 https://benesse-kodomokikin.or.jp/subsidy/
30	申請の仕方	申請書	申請書の記入欄を超えて記入してもよいか	申請書の記入欄は広げずに、指定の文字数以内で記入をお願いします。所定の文字数が入らない場合は、改行などをせず記載をしてください。
31	申請の仕方	申請書	Excelがありません（Excel以外のソフトで申請してもよいか）	申請書はExcelでの申請を推奨しております。互換性のあるソフトを使用される場合、関数や自動反映のセルがございますのでご注意ください。ご不明点がございましたら、お問い合わせください。
32	申請の仕方	申請書	申請書類②「事業計画」③「収支予算書」と、申請書の違いは何か。	申請書類②③は、現在の団体全体の活動状況を確認させていただくための書類です。よって②③は現時点の最新の団体全体の事業計画と収支予算書をご提出ください。申請書は助成事業に焦点を当てて詳細に記入していただくもののため、助成事業の詳細を確認するものとして記入してください。
33	申請の仕方	申請書	他の機関から助成金を受けている場合、申請書に記載すべきか。	申請書の予算の欄に、他の財源を記載する欄がありますので、ご記入ください。
34	申請の仕方	提出物	提出書類の、収支報告書・事業計画書等はどういう形式がよいのか	貴団体の形式で構いません。 決算が完了した年度の会計の状況と、当年度の事業や運営の計画がわかる書類の提出をお願いいたします。
35	申請の仕方	提出物	活動紹介を添付してよいか	お送りいただいても審査の対象とはなりませんので、ご了承ください。
36	申請の仕方	記入内容	公共的な助成金などを受けている場合、それも書いた方がよいのか	申請書に記入欄がございます。ご記入ください。
37	申請の仕方	選考期間	早く申請すれば、早く結果がわかるのか	申請締め切りまでにご提出いただいた申請書をまとめて3月末までに審査いたします。早く出しいただいても、結果のお知らせは3月末となります。
38	選考のプロセス	選考のプロセス	選考プロセスについて知りたい。	申請書類の内容で審査をいたします。 中間審査の段階で、選考委員より質問があった場合、事務局からメールやオンラインミーティング等でお問い合わせさせていただく場合がございます。 (確認期間 2025年2月20日～26日)
39	選考のプロセス	選考のプロセス	選考プロセスについて面接はいつごろ行われるか	面接等は特に実施する予定はありませんが、申請書類を拝見した上で不明点等があった場合は、メールやオンラインなどで確認させていただくことがあります。
40	選考のプロセス	選考のプロセス	審査結果の理由は教えてもらえるか。	個別の審査結果については開示しておりません。 助成選考結果のご報告の際に、選考委員長からの総評を開示しております。 【参考】2024年度（2023年度募集）経済的困難を抱える子どもの学び支援活動助成 選考結果のご報告資料 https://benesse-kodomokikin.or.jp/doc/2024keizaikonnankekka.pdf
41	活動変更について	活動変更	助成決定後に予算が変更になった場合はどうするのか	理由によっては、変更は認められます。どう変更するのかを事前にお知らせください。変更可能かを協議のうえ、お答えいたします。
42	活動報告について	報告回数	進捗報告は必要か	進捗の報告は年に数回予定しております。4半期に1回程度を目安に想定しています。 (対面もしくはメールやオンラインにて行います)
43	次年度の選考について	選考のプロセス	次年度も申請が必要か	2年目以降については、前年度の事業の進捗状況や成果及びそれらを踏まえた当年度計画をご提出いただきます。書類審査を行い、必要に応じて面談の上、継続の可否を判断します。計画の提出は秋～冬を想定しています。
44	助成決定後	申請内容の変更	申請時の重点実行項目の内容や予算に変更が発生した場合、認められるか	ご提出いただいた変更内容と理由を確認し、変更内容の妥当性や申請事業の目的を達成できると判断した場合、承認しています。変更基準などの詳細は、採択後にお知らせします。※助成金額の変更はできません。
45	助成決定後	助成決定後	活動期間中、出席義務のある進捗確認会や報告会はあるか。	活動期間開始前後にオンラインにて、申請事業の内容や1年間のすすめ方を確認する機会を設けます。また、団体様の訪問と、オンラインによる進捗確認会、採択団体同士の交流会（対面）へのご参加は、必須となっています。
46	助成決定後	助成決定後	活動期間中の進捗報告の頻度や形式は決まっているか。	活動期間中、進捗確認のためのオンラインミーティングが4半期に1回程度あり、口頭で進捗を確認します。また、次年度への継続審査に向けた報告書作成が1月頃にあります。年度あけに1年間の活動について成果報告を記載いただき、サイト上で公開していただきます。最終年度には、助成期間全体を振り返った成果報告を記載いただきます
47	助成決定後	助成決定後	活動期間終了後に、成果報告会はあるか。	助成プログラム終了時の、成果報告会は想定しておりません。活動期間終了後は、年間の事業活動の結果をまとめた報告書をご提出いただきます。